

漂着ゴミの実態把握を目的とした お散歩アプリの試作

キーワード：海岸・河川漂着ごみ、町周遊、SDGs、市民参加型調査

研究目的

環境モニタリングのためのデータを蓄積するために、**市民が日常的に利用可能なデータ投稿用スマホアプリ**を開発する

研究目標

- ① 日常的な利用を行ってもらえるように**お散歩時の目的地を設定**できるようにする
- ② 環境モニタリングのために投稿時に**ゴミと綺麗な景色を投稿**できるようにする
- ③ **ゲーム要素**を取り入れ、利用者のモチベーションの向上へとつなげる

現地調査

秋の海ごみゼロウィーク2022in岩手

会場：釜石市両石町水海の愛の浜
主催：釜石環境ネットワーク
開催日：2022/9/25

- ・漂着ゴミには回収可能なものと、不可能のものがある。
- ・海岸周辺を歩いていても目に見えるゴミがある程度落ちていた。

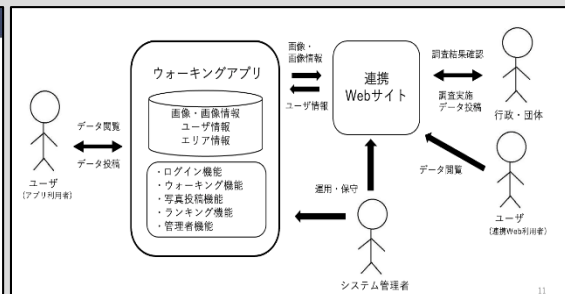


試作アプリ「Troppe Walk」の画面例（開発中）



※アプリ名は日常的に使ってほしいという思いから命名。
（岩手弁の「とろっぺつ」は「いつも」という意味）

システム構成図



拾ったゴミの量を袋サイズで登録

投稿されたデータは情報共有サイトへ（別途開発中）

本アプリに対する ご意見をおきかせください

アプリ試用&アンケート回答で
粗品進呈中！
※数に限りがあります

本件に関するお問い合わせ先： 講師 富澤 浩樹 (tomizawa@iwate-pu.ac.jp)

岩手県立大学ソフトウェア情報学部